

8 ユニバーサルデザイン

-
- (1) ユニバーサルデザインの認知状況
 - (2) ユニバーサルデザインへの関心度
 - (3) ユニバーサルデザインに関するで行いたい取り組み
 - (4) ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み
-

8. ユニバーサルデザイン

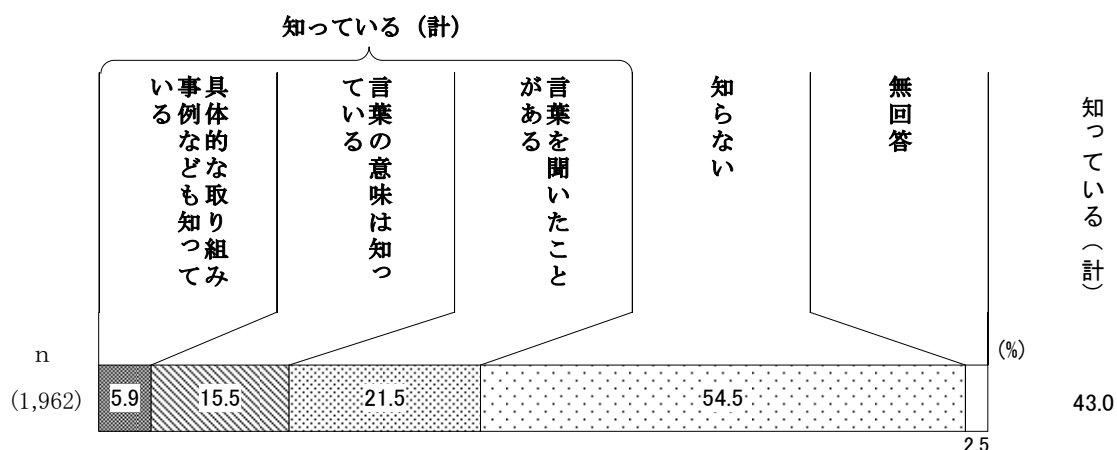
(1) ユニバーサルデザインの認知状況

■ 【知っている】は4割を超える

問31 ユニバーサルデザインとは、年齢、性別、国籍、障がいの有無など個人の様々な状況に関わらず、できる限り多くの人々が利用しやすいように配慮されたデザイン（設計）のことです。あなたは、ユニバーサルデザインについてどの程度知っていますか。

(○は1つだけ)

図8-1-1 ユニバーサルデザインの認知状況



ユニバーサルデザインについて、「具体的な取り組み事例なども知っている」が5.9%で、これに「言葉の意味は知っている」(15.5%)、「言葉を聞いたことがある」(21.5%)を合わせた【知っている】は43.0%となっている。一方、「知らない」は54.5%と過半数を占めている。

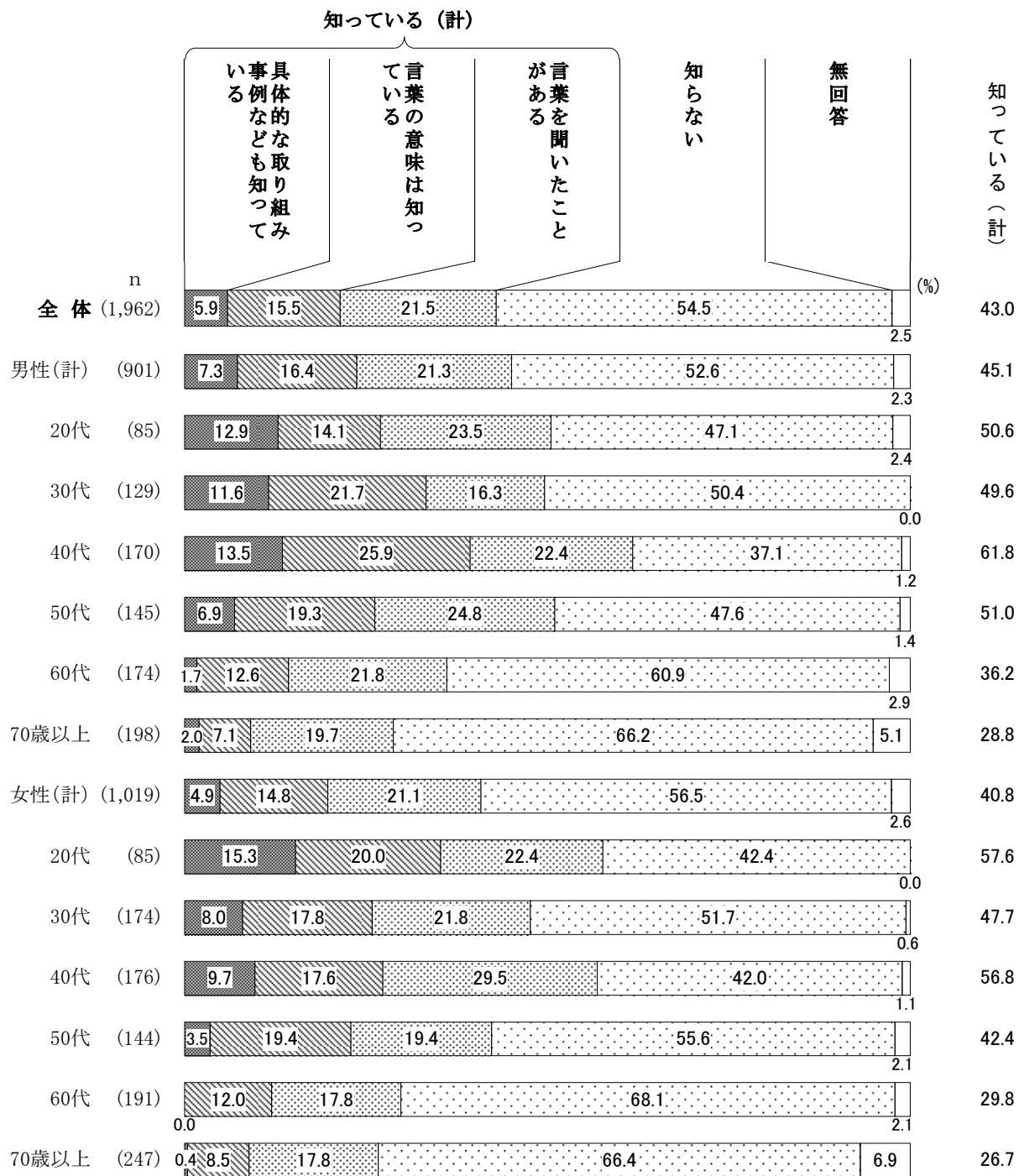
第3章 調査結果の分析

性別で見ると、【知っている】は、男性45.1%、女性40.8%と男性が女性より高くなっている。

性・年代別で見ると、男性では、40代で【知っている】が61.8%を占めているほか、20代、30代、50代でも5割前後となっている。

女性では、20代、40代で【知っている】がそれぞれ57.6%、56.8%と5割を超え、他の年代より高くなっている。男女とも60代以上で認知状況は低くなっている。

図8-1-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインの認知状況

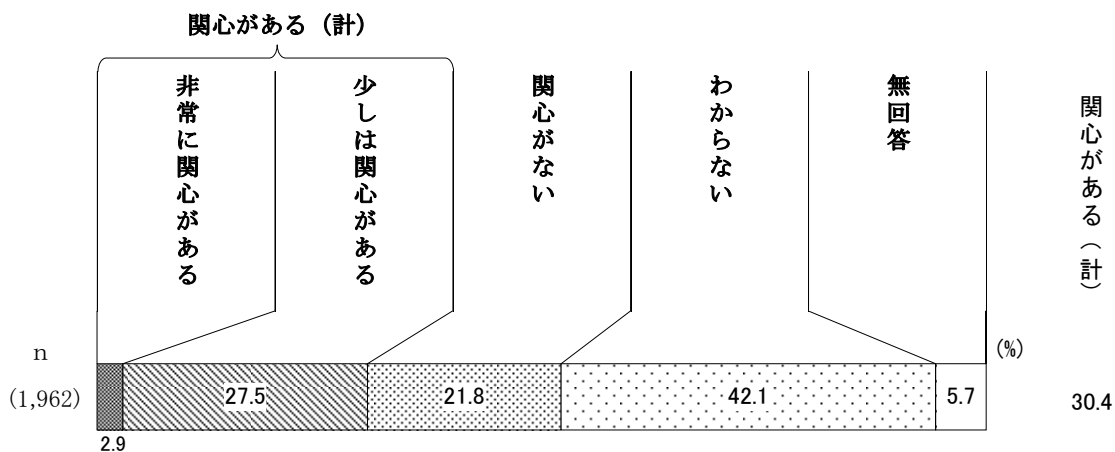


(2) ユニバーサルデザインへの関心度

■ 【関心がある】は3割

問32 あなたは、ユニバーサルデザインに関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

図8-2-1 ユニバーサルデザインへの関心度

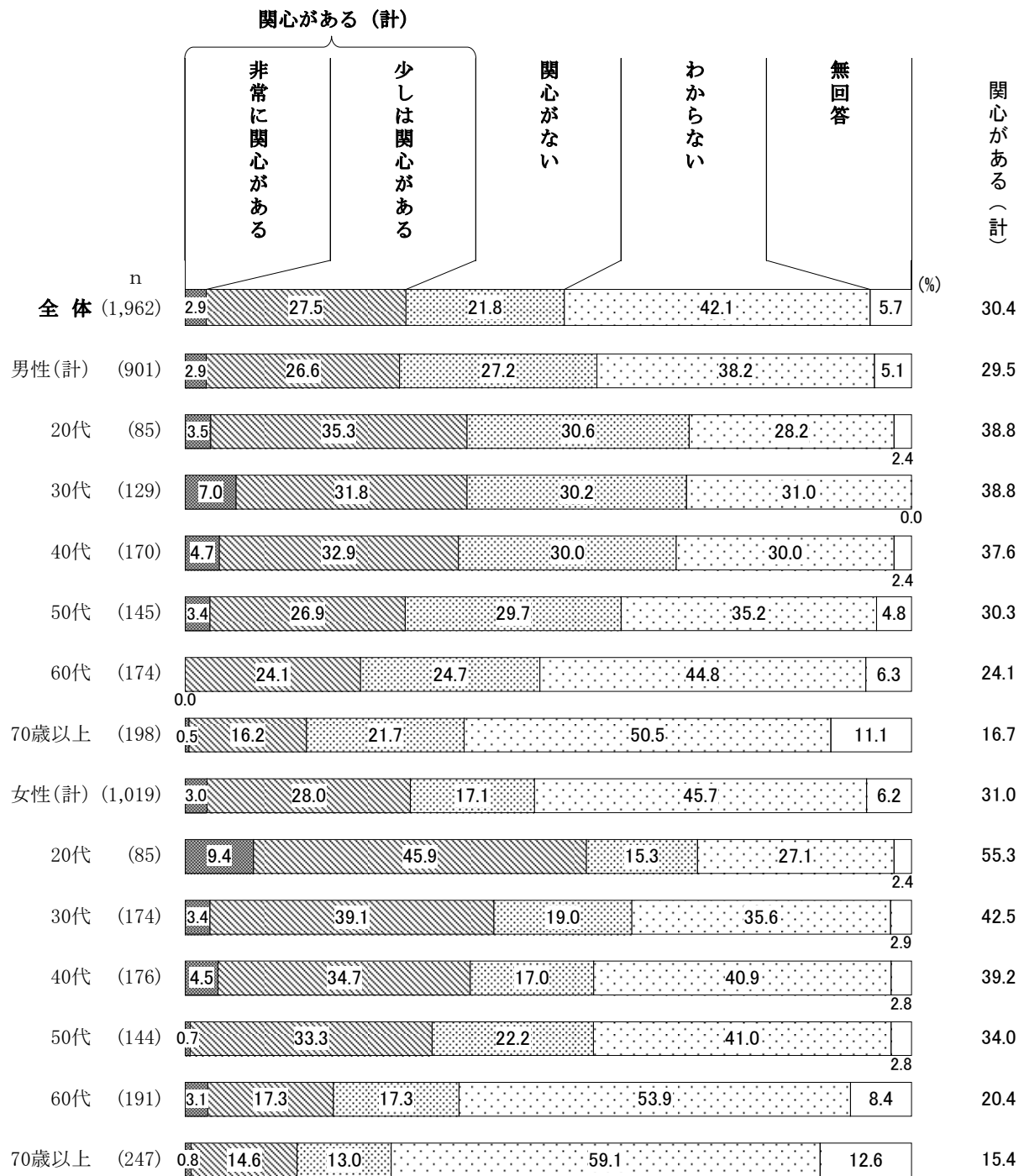


ユニバーサルデザインに「非常に関心がある」が2.9%で、これに「少しは関心がある」の27.5%を合わせた【関心がある】は30.4%となっている。一方、「関心がない」は21.8%となっている。

第3章 調査結果の分析

性別でみると、【関心がある】は、男性29.5%、女性31.0%となっている。
 性・年代別でみると、男性では、20代から40代で【関心がある】が4割近くとなっている。
 女性では、若い年代ほど【関心がある】が増加する傾向があり、20代では55.3%となっている。
 男女とも60代以上で【関心がある】が低くなっている。

図8-2-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインへの関心度

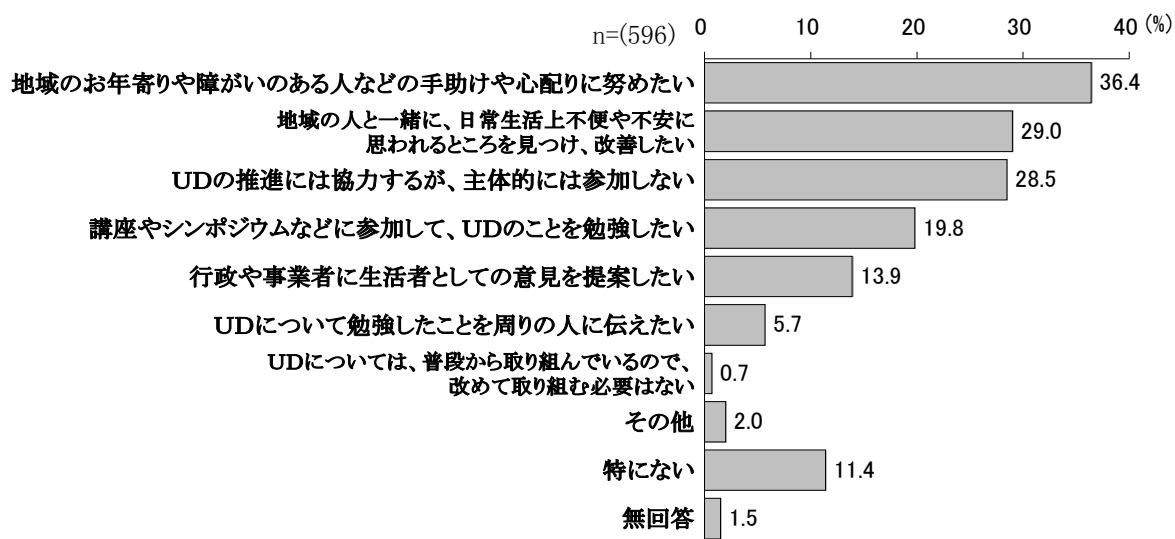


(3) ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み

- “手助けや心配りに努めたい”が3割台半ば、“地域の人と一緒に、不便や不安に思われることを改善したい”“推進には協力するが、主体的には参加せず”がともに3割弱で上位

問32で「1. 非常に興味がある」または「2. 少しは興味がある」とお答えの方に
 問32-1 ユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）に関することで、今後、あなたはどのような取り組みを行いたいですか。（○は3つまで）

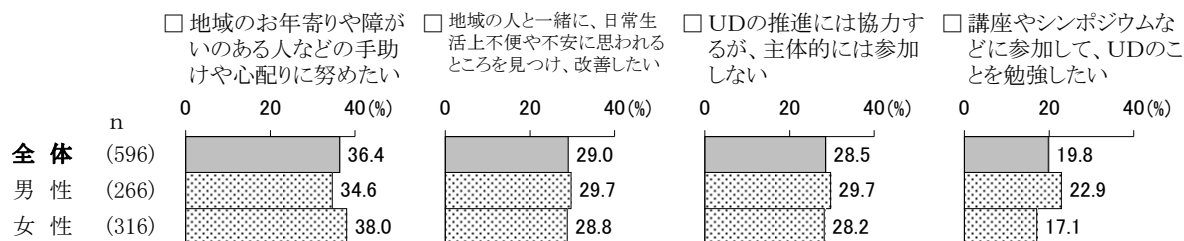
図8-3-1 ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み



【興味がある】という人に、取り組みたいことを聞くと、「地域のお年寄りや障がいのある人などの手助けや心配りに努めたい」が36.4%で最も高く、以下「地域の人と一緒に、日常生活上不便や不安に思われるところを見つけ、改善したい」（29.0%）、「UDの推進には協力するが、主体的には参加しない」（28.5%）の順となっている。

性別でみると、「地域のお年寄りや障がいのある人などの手助けや心配りに努めたい」は男性34.6%、女性38.0%となっている。

図8-3-2 性別／ユニバーサルデザインに関することで行いたい取り組み／上位4項目

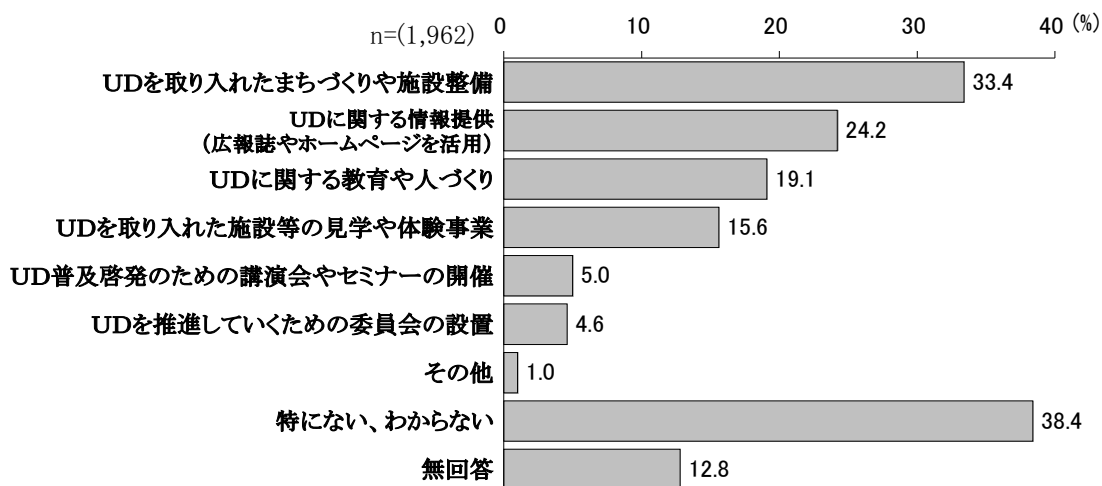


(4) ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み

■ 「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が3割を超える

問33 あなたは、ユニバーサルデザイン（以下「UD」と表記します）を推進していく上で、どのような取り組みが必要だとお考えですか。（〇は3つまで）

図8-4-1 ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み



ユニバーサルデザインを推進していく上で、必要な取り組みとしては、「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が33.4%で最も高く、以下「UDに関する情報提供」(24.2%)、「UDに関する教育や人づくり」(19.1%)の順となっている。

性別でみると、上位4項目について、大きな男女差はみられない。

性・年代別でみると、男性の場合、上位4項目とも30代で最も高く、40代以上では低下傾向を示している。女性の20代で「UDを取り入れたまちづくりや施設整備」が52.9%、「UDに関する情報提供」が37.6%、「UDに関する教育や人づくり」が30.6%、「UDを取り入れた施設等の見学や体験事業」が22.4%と上位4項目とも全年代中で最も高くなっている。

図8-4-2 性別、性・年代別／ユニバーサルデザインを推進していく上で必要な取り組み

／上位4項目

